各紙に紹介された紙芝居文化の会の活動

北海道新聞　2002年（平成14年）8月27日（火曜日）

演じる息遣い 見るドキドキ感が魅力

紙芝居復権

「紙芝居が始まるよ！」。かわいらしい声援が飛ぶ。「いけないんだ」と叱る声…。

函館市の函館人図書所では毎週金曜日、紙芝居の会が開かれ、約二十人の子どもたちが集まる。ニナイーシングが主宰する「函館紙芝居の会」の発表会だ。

今月は「三匹の仔ぶた」と「猿地蔵」。ニナイーシングの女性二人が、交互に絵を入れ替えながら、ストーリーを進めていく。

集中力、想像力養う　保育所など教材で活用

紙芝居が教育の場で注目を集めたのは、戦後の小学校教育からだ。それ以前、紙芝居は街頭で子どもを集めて演じられ、水あめなどを売る商売の手段でもあった。

紙芝居文化の会の発足に先立ち、函館市内の保育所や小学校などで紙芝居の読み聞かせを行ってきた。

「紙芝居の魅力は、絵と話の両方を楽しめること。テレビやビデオと違い、子どもの集中力、想像力を養うのに最適」と話す。

「紙芝居は、絵と話の両方を楽しめる。テレビやビデオと違い、子どもの集中力、想像力を養うのに最適」と話す。

■作り方のコツは…　コミュニケーション大事　思いの高田弘子さん

高田弘子さん

会話中心、絵は大胆に　目線は子供に向けて

紙芝居の作り方のコツを聞いた。

「紙芝居の特性は対話にある。会話が中心で、絵は大胆に描いた方がよい。子どもの反応を見ながら、上げると良いと思います。私は話しながら子どもの表情などをよく観察しています。三人くらいに話すと、周りは聞いてくれます。そうしたら次に五人に話す、というようにだんだん増やしていきます。アドリブを交えて子どもに話を聞かせてしまうと、子どもの反応が良い作品ができます。

紙芝居の作り方のコツを聞いた。

「紙芝居の特性は対話にある。会話が中心で、絵は大胆に描いた方がよい。子どもの反応を見ながら、上げると良いと思います。私は話しながら子どもの表情などをよく観察しています。三人くらいに話すと、周りは聞いてくれます。そうしたら次に五人に話す、というようにだんだん増やしていきます。アドリブを交えて子どもに話を聞かせてしまうと、子どもの反応が良い作品ができます。

■私のお薦め

※図書館から選んでもらいました。

◇高田弘子さん
・おおきくおおきくおおきくなあれ
・ さきげんのわるいコックさん
・ネコのたいそう
・まんじゅうこわい
・モチモチの木
◇小林文都子さん
・おねまうなにゃかいもさん
・おだんごころころ
・なんにもせんにん
・おばけとやっちゃん
・ さきげんのわるいコックさん
◇佐々木敦子さん
・モモちゃんシリーズ（全6巻）
・ポタンちゃん
・にんじんさんだいこんさんごぼうさん
・ろみにしずんだおに
・ケーキだはいほい

紙芝居を使い入るように見つめる函館人図書所の子供たち

毎日新聞　2001年（平成13年）12月20日（木曜日）

交流深め 世界に紹介を　紙芝居文化の会 始動

わが国独自の文化で、子供たちに人気がある紙芝居（かみしばい）。この伝統を受け継ぎ、世界に広めようと「紙芝居文化の会」（まついのり代表）が発足した。初代会長に長野・軽井沢町在住の絵本作家、長谷川摂子さんが就任。外国語で「紙芝居」を紹介する冊子の作成や他国との交流を進めていく。

会員は現在、国内外で約30人。来秋にはパリで開かれる国際児童図書評議会（IBBY）の大会で、日本の紙芝居を紹介する。

問い合わせは国内関係者に詳しいフランス文学者の松井ナイコさん（☎0422・49・8990）、海外関係は野坂悦子さん（☎044・988・8888）。

毎日新聞　2002年（平成14年）4月6日（土曜日）

日本の紙芝居を世界へ

作家や出版関係者らが集まり、研究会を発足

毎日新聞　2002年（平成14年）9月25日

「KAMISHIBAI」、フランスへ

来月、初の紙芝居セミナー

「共感」広げよう

日本独自の文化

日本の研究団体、各国で紹介

"欧州発"の作品も登場